取材日：　平成 29 年　 7 月　26 日

# 長久手人

File No. 9

| 長久手人の氏名 |
| --- |
| イイダ　ヨシ カヅ<br>飯田　善運 |

| 活動内容 | 子どもの笑顔が原動力！フリースクールの運営と学習支援 |
| --- | --- |

## Q1 活動内容と始めたきっかけは？

学生時代にフリースクールでのボランティア活動を通して、不登校や、ひとり親世帯、生活困窮世帯の子どもたちを支えたいと考えました。そこで、不登校の子どもが気軽に利用できるフリースクールを立ち上げました。とはいえ、まずは不登校の子どもと1対１で話すことから始めました。

## Q2 「この」活動の「ここ」がおもしろい！やりがいがある！と思う事は？

一人でこの活動を始めましたが、定年退職をした方をはじめとし、活動に賛同し、協力してくださる方も増えました。

フリースクールに通う子どもが、徐々に自信を持てるようになり、笑顔になることで、親も笑顔になります。それは、私のやりがいであり、原動力です。

## Q3 ずばり！あなたが考える「幸せ」とは？

人と関わる機会が少ない子どもが、フリースクールの活動を通して様々な人と交流することは、とても大切だと感じています。それは、子どもたちの自信や安心につながるからです。

活動を通して、子どもの笑顔が増えていくこと、それが私が幸せに感じることです。

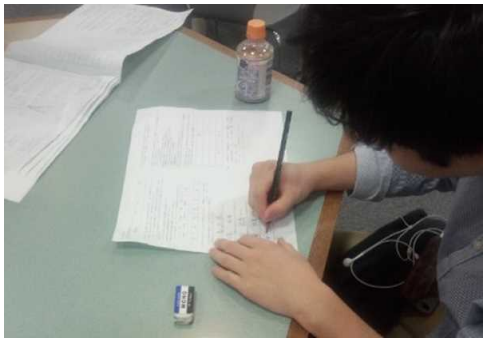
## Q4 フリーメッセージ

（例）将来の目標、参加の呼びかけ

小学生の学習支援においては、学習面のサポートだけでなく、食べること、遊ぶことなども含めた幅広いサポートが必要になることもあります。

地域の方で、何か特技を持っている方は、是非、子どもたちと関わりを持って欲しいです。一緒に遊んだり、話をするだけでもいいのです。地域の方と一緒に、子どもの笑顔を育てていきたいと思っています。

使命感あふれる飯田さん（インタビューの様子）



学習支援の様子

**取材者（　じゅんちゃん　）のコメント**

取材が長引いてしまいました。傾聴と言う言葉を耳にしますが、正に傾聴して下さる方でした。この活動を「塾」と言っている子供たちがいるそうです。「塾」に行けない子どもにとっては、ここは「塾」なのです。塾に通う人がまだ、少なかった時代とは違い、子どもも親も大変なんだと改めて、感じました。